

結婚や妊娠・出産、子育てに関する県民意識調査

～18～39歳の県民の皆さん約3万人にお聞きしました～

本調査は、三重県の少子化対策の計画である「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」にもとづいて、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重をめざして取組を推進する上での参考とするため、内閣府の地域少子化対策重点推進交付金を活用して、18歳から39歳までの県民の皆さん3万人余りを対象に、結婚や妊娠・出産、子育てについての意識を調査したものです。

（調査概要）

調査名：結婚や妊娠・出産、子育てに関する県民意識調査

調査対象：平成29年6月2日現在で県内各市町の選挙人名簿に記載のある18歳から39歳の県民30,552人

調査方法：郵送による配布・回収

調査期間：平成29年7月24日～平成29年8月18日

有効回答数：8,644通（有効回答率：28.3%）

調査委託機関：株式会社百五総合研究所

（目次）

1. 結婚についての意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 婚活（出逢い）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 理想の子どもの数(希望出生率の試算)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4. 男性の育児参画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
5. 妊娠・出産に関する医学的情報の認知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

三重県 健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話：059-224-2404

FAX：059-224-2270

E-mail：shoshika@pref.mie.jp

みえ子どもスマイルネット

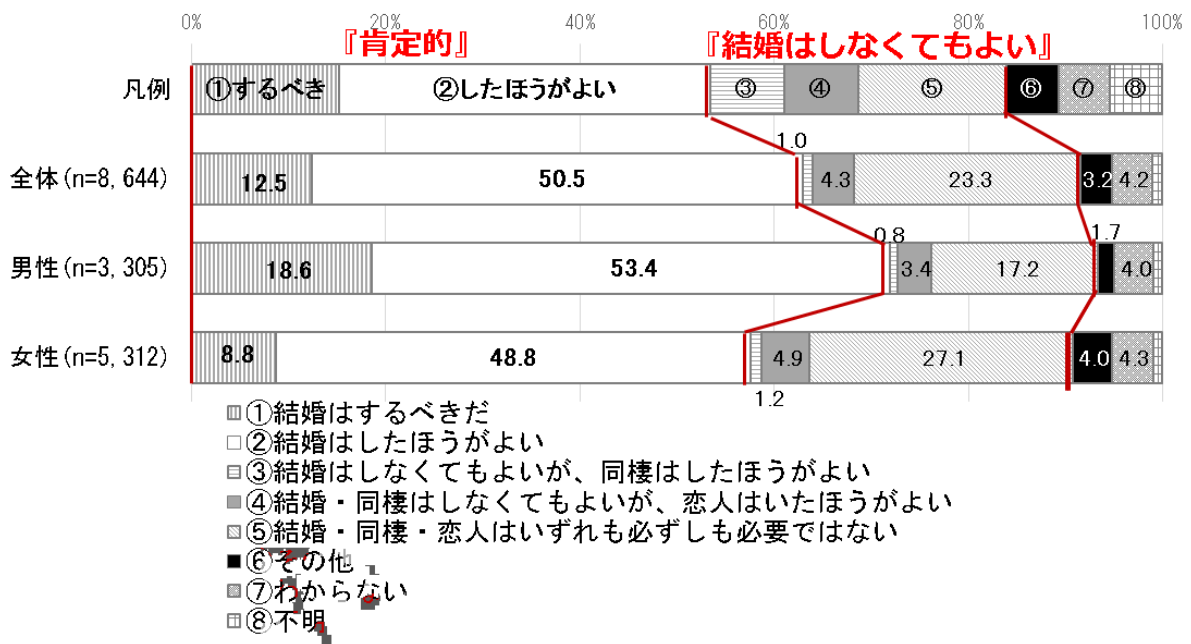
[http:// www.shoshika.pref.mie.lg.jp/](http://www.shoshika.pref.mie.lg.jp/)

1. 結婚についての意識

- 結婚について肯定的な考え方（「結婚はするべきだ」「結婚はしたほうがよい」）の割合は男性の方が高い一方、自身の結婚に対する考えについて「いずれ結婚するつもり」と回答した割合は女性の方が高い。**図表 1** **図表 2**
- 未婚の方の理想の結婚年齢は平均で男性が 29.3 歳、女性は 27.4 歳となっている。**図表 3**
- 現在結婚していない理由は「出会いがない」や「理想の相手に出会えていない」が多いが、うち 30 歳代男性では「収入が少ない」も多い。**図表 4**
- 結婚後に住みたい地域は、男女とも現在の住まいと同じ市町や近隣市町（県内）が多い。**図表 5**

図表 1 結婚についての考え（問 1）

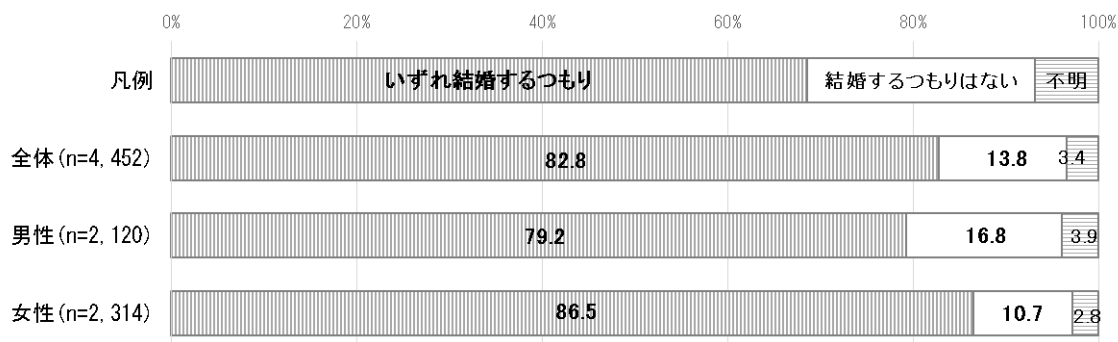
- 結婚について肯定的な考え方（「結婚はするべきだ」「結婚はしたほうがよい」）の割合は、男性が 72.0%で女性（57.6%）より高く、「結婚・同棲・恋人はいずれも必ずしも必要ではない」は女性が 27.1%で男性（17.2%）より高い。



※属性の回答状況により、全体と男女計は一致しない

図表 2 自身の結婚に対する考え（問 13）

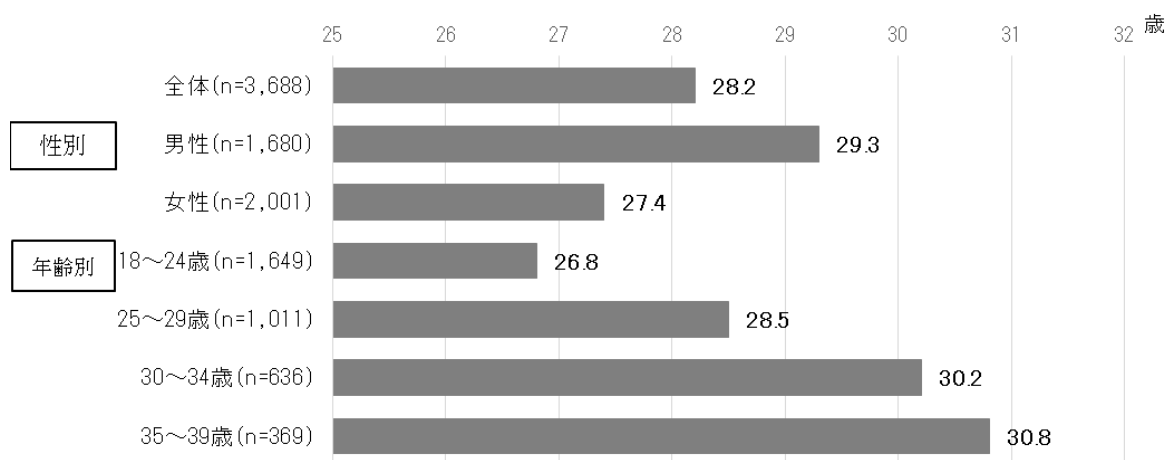
- 未婚の方の自身の結婚に対する考えについて「いずれ結婚するつもり」と回答した割合は、女性が86.5%で男性（79.2%）より高い。



※属性の回答状況により、全体と男女計は一致しない

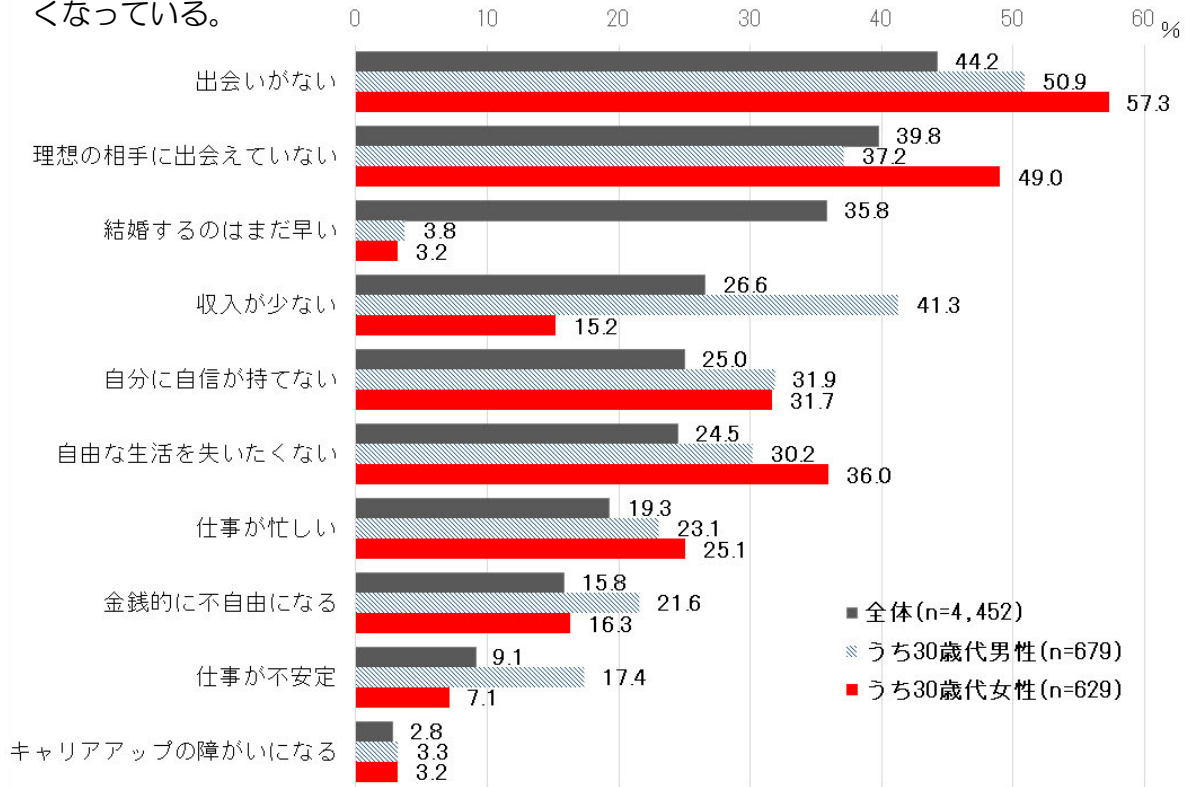
図表 3 理想の結婚年齢（問 14）

- 未婚の方の理想の結婚年齢の平均は28.2歳（回答者の現在の平均年齢は26.2歳）で、男性が29.3歳、女性は27.4歳となっている。また、現在30～34歳の方は30.2歳、35～39歳の方は30.8歳となっている。



図表4 現在を結婚していない理由（問11_複数回答）

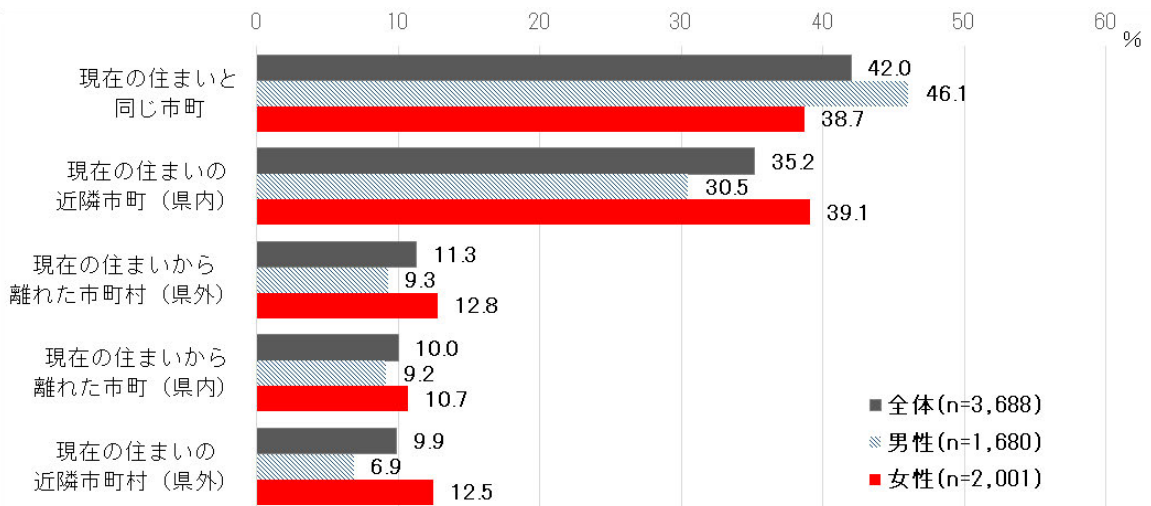
➤ 現在結婚をしていない理由は「出会いがない」が44.2%、「理想の相手に出会えていない」が39.8%であり、うち30歳代男性では「収入が少ない」が41.3%と2番目に高くなっている。



※「その他」の選択肢及び不明を除いて記載

図表5 結婚後に住みたい地域（問15_複数回答）

➤ 結婚後に住みたい地域は、男性は「現在の住まいと同じ市町」が46.1%で、「現在の住まいの近隣市町（県内）」（30.5%）より15.6ポイント高い一方、女性は「現在の住まいと同じ市町」（38.7%）と「現在の住まいの近隣市町（県内）」（39.1%）がほぼ同じ割合となっている。



※「その他」「わからない」の選択肢及び不明を除いて記載

2. 婚活（出逢い）について

○配偶者と出逢ったきっかけは「友人・知人の紹介」や「職場や仕事関係」が多い。

図表 6

○結婚した年齢が理想より高かった（遅かった）理由は「適当な相手がいなかったら」が多い。**図表 7**

○未婚の方の 68.5%は婚活を一度もしたことがなく、30 歳代も 43.8%の人が一度も婚活をしたことがない。現在、婚活をしていない理由は「自然な出会いを待ちたい」や「何をすればよいか分からない」が多い。**図表 8** **図表 9**

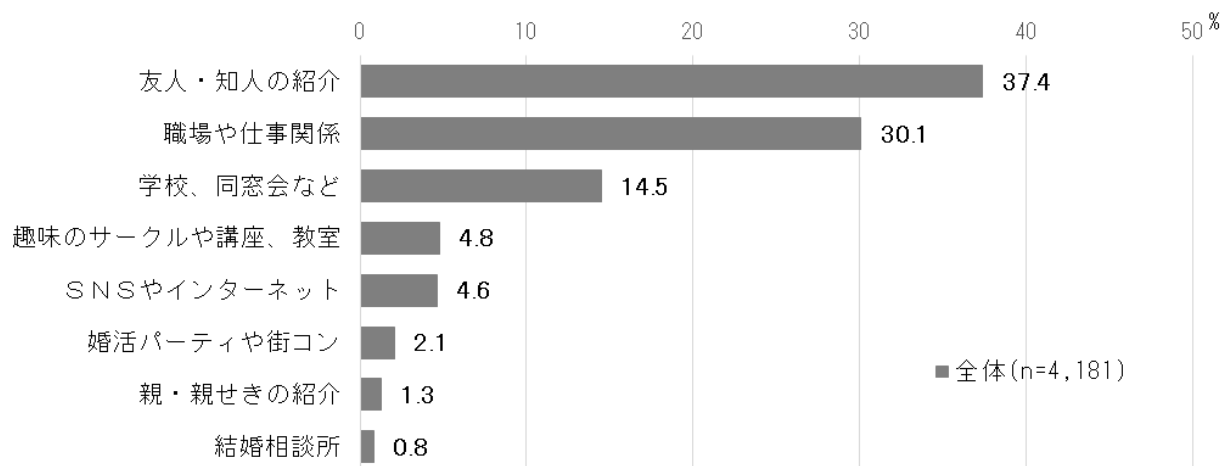
○参加したい出逢いイベントは「カフェで軽食やお茶」など気軽なものが多く、アウトドアやスポーツ、ものづくり体験、職場の交流など多岐にわたる。**図表 10**

○みえ出逢いサポートセンターを知っている方は約 1 割となっている。また、利用意向については、「ある」が 41.0%、「わからない」が 35.1%となっている。**図表 11**

図表 12

図表 6 配偶者と出逢ったきっかけ（問 7）

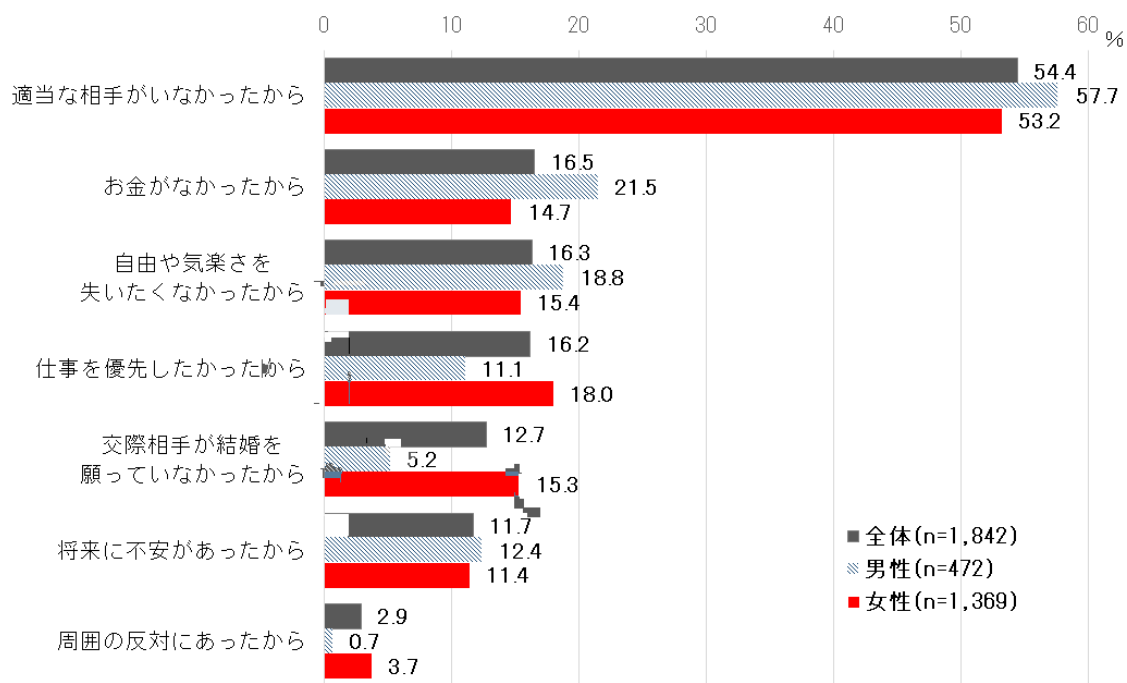
➤ 配偶者と出逢ったきっかけは「友人・知人の紹介」や「職場や仕事関係」が多い。



※「その他」の選択肢及び不明を除いて記載

【図表7】 結婚した年齢が理想より高かった（遅かった）理由（問6）

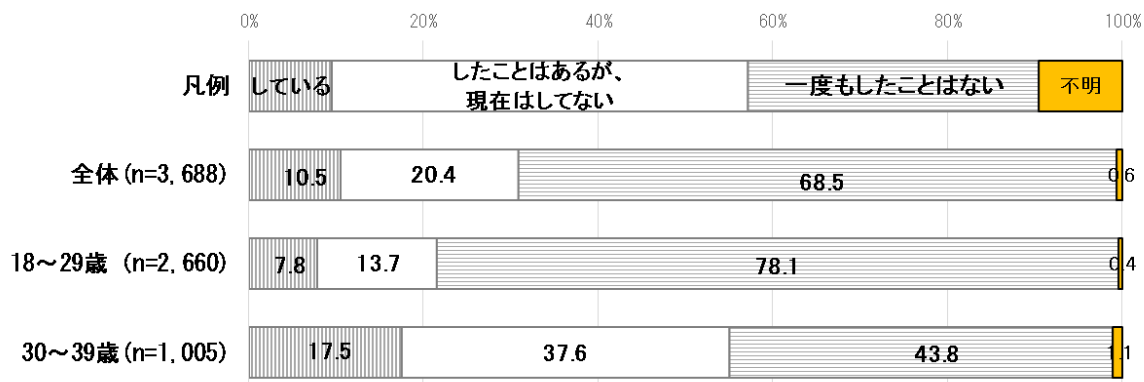
- 結婚を経験した方の結婚した年齢が理想より高かった（遅かった）理由は、男女とも「適当な相手がいなかったから」が最も多く、次いで男性は「お金がなかったから」、女性は「仕事を優先したかったから」が多い。



※「その他」の選択肢及び不明を除いて記載

【図表8】 結婚相手に出会うための活動（婚活）の状況（問16）

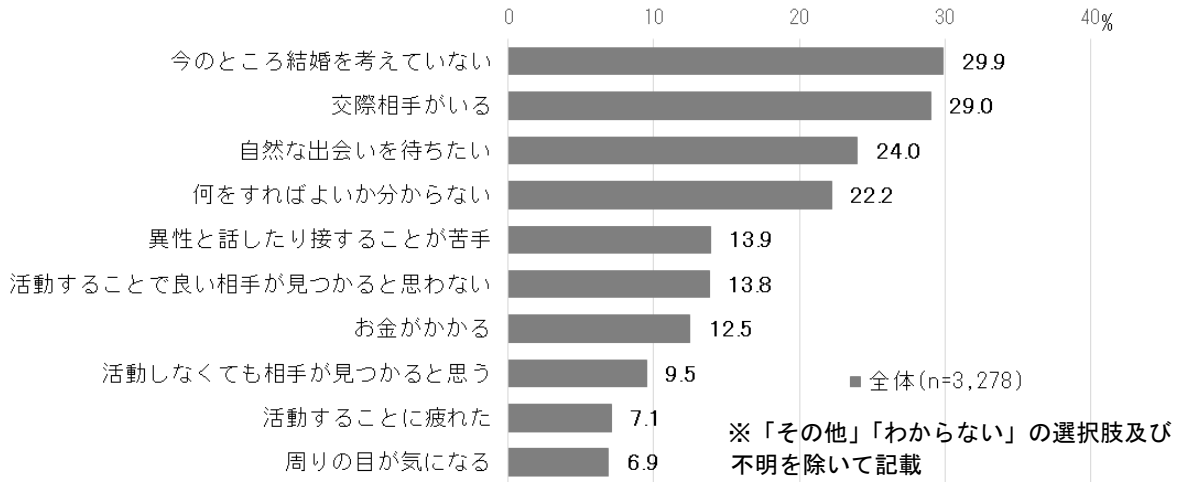
- 未婚の方の68.5%は婚活を一度もしたことがなく、30歳代も43.8%の人が婚活を一度もしたことがない。



※「その他」の選択肢及び不明を除いて記載

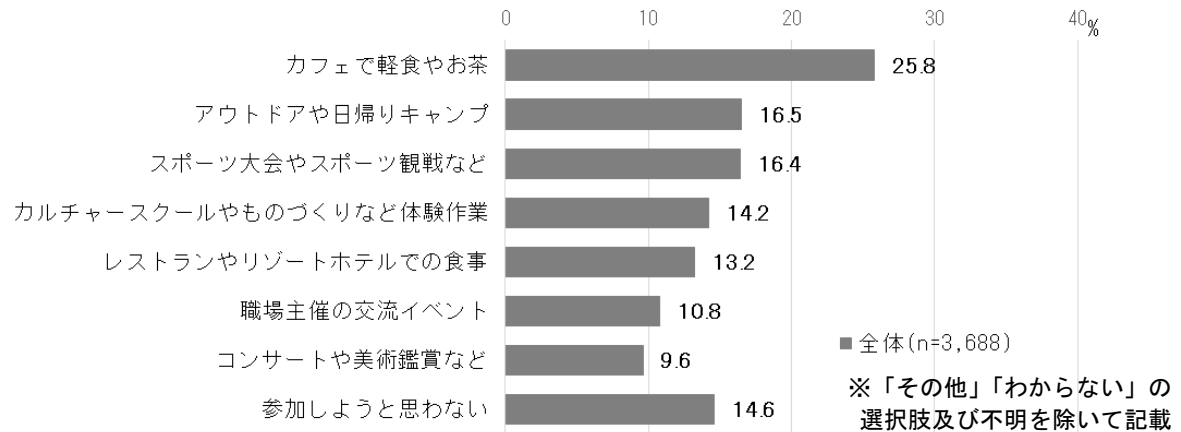
図表9 現在婚活をしていない理由（問17_複数回答）

未婚でいずれ結婚するつもりと考えている方の現在婚活をしていない理由は、「自然な出会いを待ちたい」や「何をすればよいか分からない」が多い。



図表10 参加したい出逢いイベント（問18_複数回答）

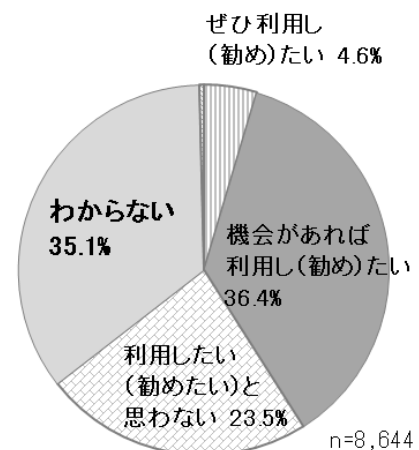
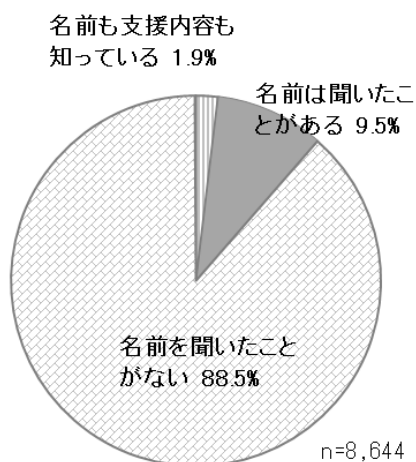
未婚の方の参加したい出逢いイベントは、「カフェで軽食やお茶」が最も多く、アウトドアやスポーツ、ものづくり体験、職場の交流など多岐にわたる。



図表11 みえ出逢いサポートセンターの認知度（問19）

図表12 みえ出逢いサポートセンターの利用意向（問20）

みえ出逢いサポートセンターの「名前を聞いたことがない」が88.5%と高いものの、利用意向がある（「ぜひ利用し（勧め）たい」「機会があれば利用し（勧め）たい」）は41.0%、「わからない」が35.1%となっている。

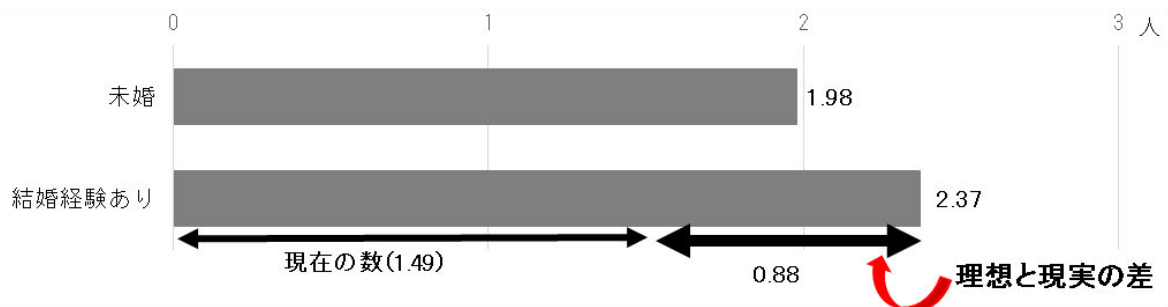


3. 理想の子どもの数（希望出生率の試算）

- 理想の子どもの数の平均は未婚の方が 1.98 人。また結婚経験がある方は 2.37 人で現在の数（1.49 人）より 0.88 人少ない。**図表 13**
- 希望出生率（県民の結婚や出産の希望がなかったと仮定した場合の合計特殊出生率の水準）を試算したところ 1.84 となった。**参考**

図表 13 理想の子どもの数（問 3、問 10）

- 未婚の方の理想の子どもの数の平均は 1.98 人。結婚経験がある人の理想の子どもの数は 2.37 人で現在の数（1.49 人）と比べ、0.88 人少ない。



※結婚経験ありは「現在は配偶者等がいる」と「現在は配偶者等がない」の合計

参考 希望出生率（試算）

- 希望出生率（県民の結婚や出産の希望がなかったと仮定した場合の合計特殊出生率の水準）を試算したところ 1.84 で、市町毎ではおよそ 1.7 から 2.1 となった。

希望出生率(試算)

三重県	1.84	津市	1.81	東員町	1.87	度会町	1.90
桑名市	1.80	松阪市	1.78	菰野町	1.77	大紀町	1.99
いなべ市	1.80	伊勢市	1.90	朝日町	1.76	南伊勢町	1.94
四日市市	1.83	鳥羽市	1.96	川越町	1.83	紀北町	1.88
鈴鹿市	1.83	志摩市	1.82	多気町	1.86	御浜町	2.10
亀山市	1.89	尾鷲市	1.77	明和町	1.85	紀宝町	1.99
伊賀市	1.85	熊野市	1.97	大台町	1.71		
名張市	1.98	木曽岬町	1.65	玉城町	1.97		

※平成 26 年 5 月「ストップ少子化・地方元気戦略」（日本創成会議・人口減少問題検討分科会）の計算方法をもとに試算。

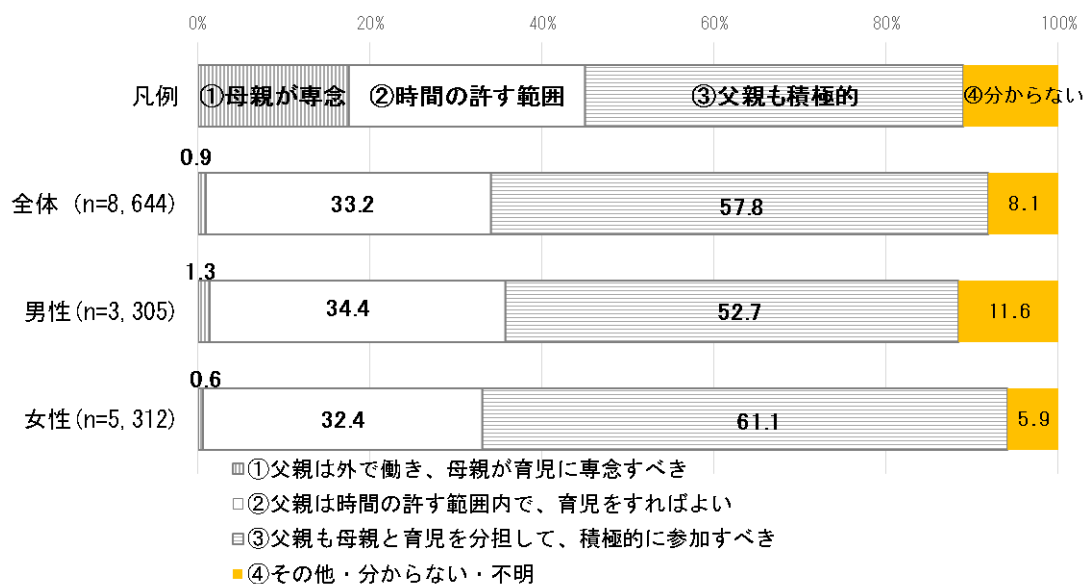
4. 男性の育児参画について

○父親も積極的に育児に参加すべきとする考え方は男女とも 50%を超えている一方、子どもがいる男性の3人に1人は平日に家事や育児をほとんどしていない。 **図表 14**

図表 15

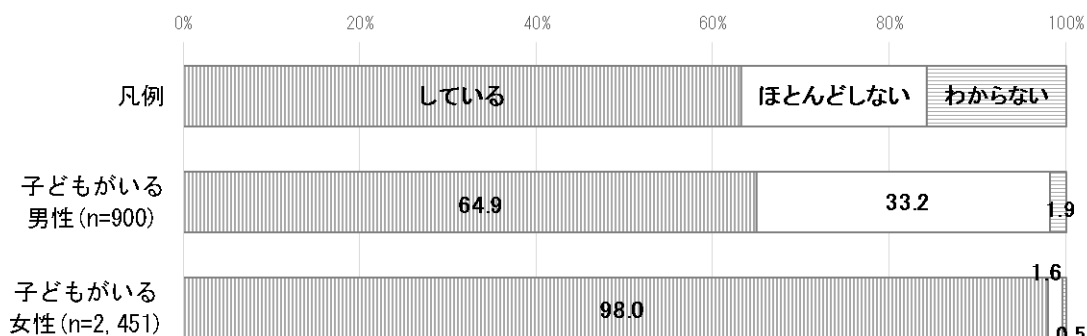
図表 14 父親が育児をすることの考え方（問 22）

- 父親が育児をすることの考え方について、「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」が 57.8%で最も多く、「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」を加えると約9割の人が父親も育児にかかわるべきと回答している。



図表 15 平日の家事・育児・子どもの世話・介護等の実施状況（問 21）

- 子どもがいる男性の3人に1人は、平日に家事や育児等をほとんどしていない。

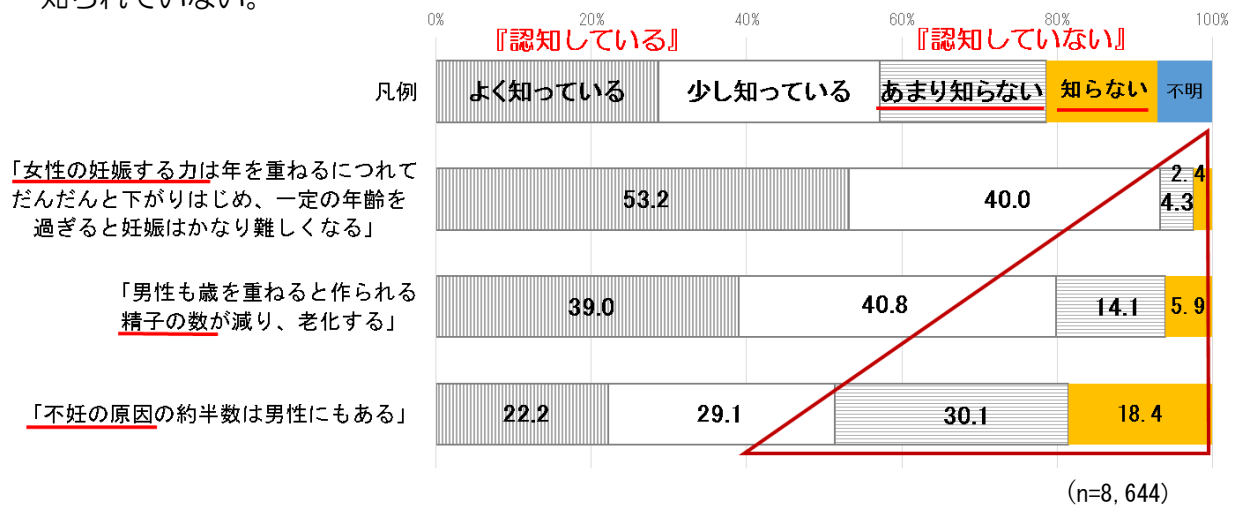


5. 妊娠・出産に関する医学的情報の認知度

○「不妊の原因の約半数は男性にもある」ことなどはまだ広く知られていないが、多くの県民はこのような妊娠・出産に関する医学的な情報を知ることは将来設計や行動に変化があると考えている。 **図表 16** **図表 17**

図表 16 妊娠・出産に関する医学的情報の認知度（問 23、問 24、問 25）

- 「不妊の原因の約半数が男性にもある」ことを『認知していない』（「あまり知らない」「知らない」）割合が 48.5% となっているなど、妊娠・出産に関する医学的情報はまだ広く知られていない。



図表 17 妊娠・出産に関する医学的知識の認知による将来設計や行動変化（問 26）

- 妊娠・出産に関する医学的情報を知ることで、74.3%の人が将来設計や行動に「変化があると思う」と回答している。

